

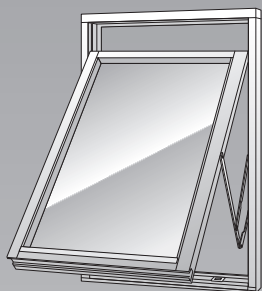
取扱説明書

EuroFönster

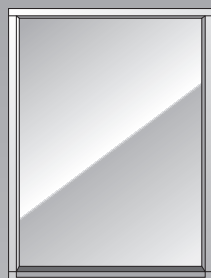
SVENSK Confort Window

ユーロフェンスター木製窓

品番 ECT/ECP/ECD/ECDP



ECT



ECP



ECD



ECDP

建築 業者様

- お引き渡し時に、品質保証書（裏表紙）の必須記入事項に記入して、必ず施主様へお渡しください。

安全上のご注意	1
横軸回転窓 (ECT) の開閉操作	2
テラスドア (ECD) ・両開きテラスドア (ECDP) の開閉操作	4
ガラス部分のメンテナンス	6
塗装部分のメンテナンス	6
可動部分・金物部分のメンテナンス	7
メンテナンス・部品交換時に必要な作業	8

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」（☞ 2 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

安全上のご注意

本窓・ドアをお使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。








 警告	人が死亡したり、重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。	 注意	人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。
---	---------------------------------	---	------------------------------




図記号の意味

 してはいけない内容を示します。	 必ず実行しなければならない内容を示します。
---	---

警告

注意

-  **開閉部分に手などを挟まないようにする**
 - 開閉操作を行うときは、ハンドルをしっかりつかんでゆっくり行ってください。けがの原因になります。
-  **強風時には必ず窓を閉めてロックする**
 - 窓を開けたままにしますと、突風等で窓・ドアが突然閉じて手を挟むなどけがの原因になります。
-  **回転窓の場合、窓はゆっくり開閉する**
 - 窓を開放する際、机や台に乗って開けたり、無理に外側に押し出しますと、回転の反動により窓から落下する原因になります。
-  **回転窓を開放して使用する場合、小さなお子様のいるご家庭では、必ずチャイルドロックをかけて使用する（P3 参照）**
 - ロックされていないと、窓から落下する原因になります。
-  **金具などに触れるときは気をつける**
 - 手を切るなどけがの原因になります。
-  **窓木部は定期的にメンテナンスを行う**
 - 故障や破損破損の原因になります。
-  **万一ガラス部が破損した場合、ガラスの破片の取り扱いには十分注意する**
 - けがの原因になります。

-  **ドアが固定された状態では無理に開閉をしない**
 - 破損のおそれがあります。
-  **窓本体・ドア本体の改造はしない**
 - 窓本体・ドア本体が破損するおそれがあります。
-  **開閉方向以外の無理な開け方はしない**
 - 窓本体・ドア本体が破損するおそれがあります。

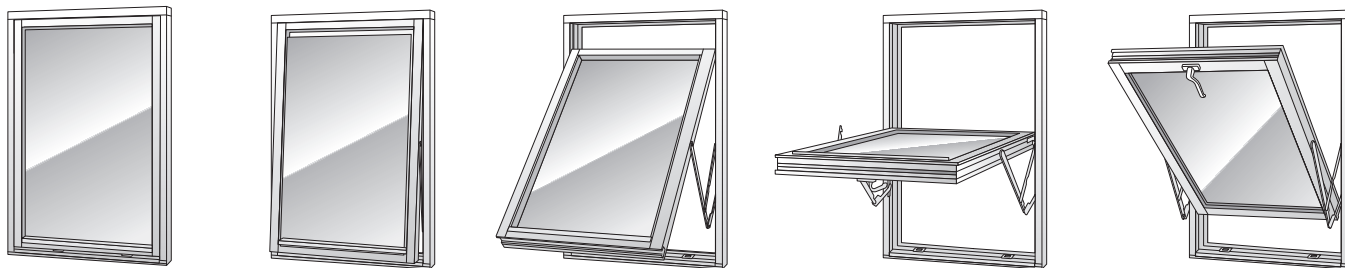
木製品のご注意

本製品は木製ですので、お引渡し後 1～2 年程度は、木の特性として膨張したり収縮したりすることがあります。また乾燥により割れが生じることもあります。通常のメンテナンスを行っていただければ、性能に影響を及ぼすことはありません。

横軸回転窓（ECT）の開閉操作

横軸回転窓 開閉のしくみ

■ 横軸回転窓（ECT）タイプの場合、下図のような障子部の滑り出し回転による開閉になります。



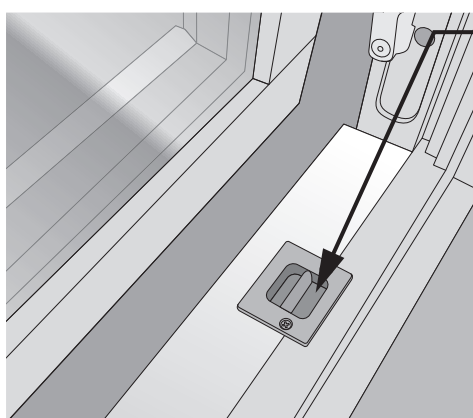
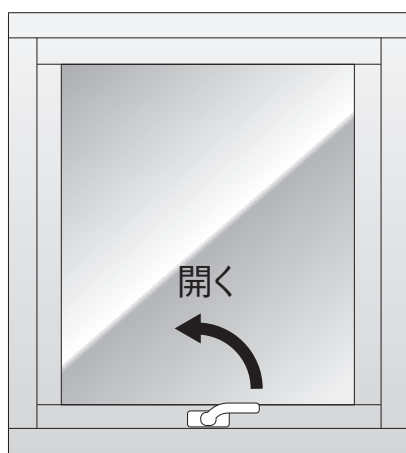
※ 図は屋外屋外側より見たものです。

開閉操作のしかた

■ 施錠の方法は以下の2種類です。

施錠ポジション

完全に閉めた状態で施錠した状態です。室外側からの解錠はできません。

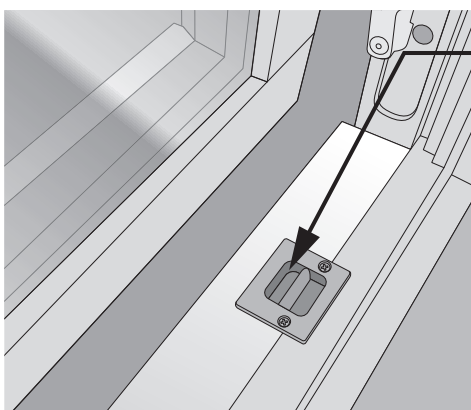
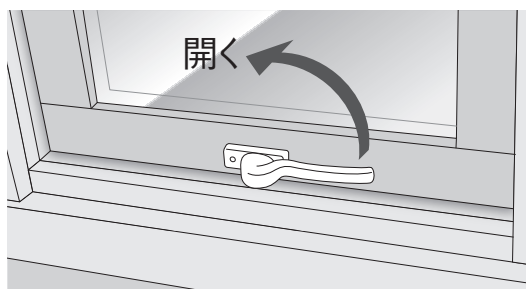


施錠用穴位置

- 窓が安全に閉まった状態でハンドルを倒すと、障子下部のデッドボルトが、下枠の下枠のロック受け金物に入り施錠されます。

換気ポジション

換気をするため、少し窓を開けて施錠します。



換気用穴位置

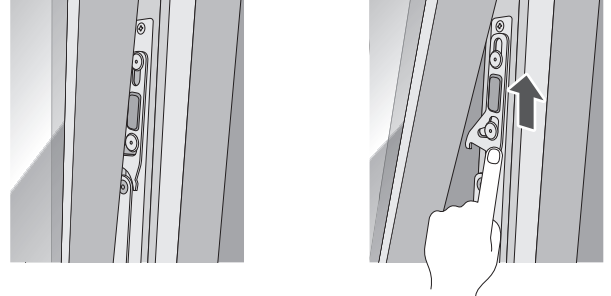
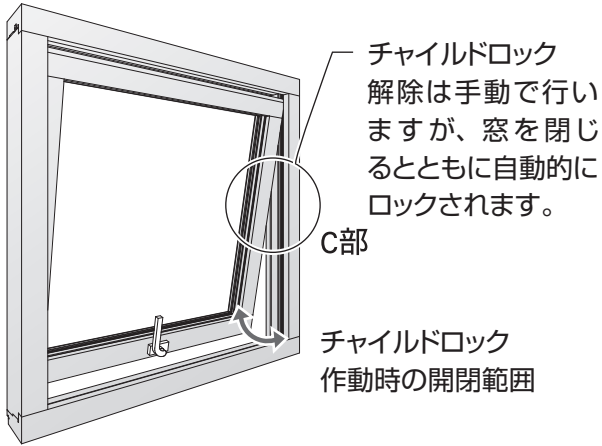
- ハンドルを倒し、ロック受け金物の屋外側の穴で施錠すると、少し隙間を開けて換気することができます。

横軸回転窓（ECT）の開閉操作（つづき）

チャイルドロック（安全ストッパー機能）ポジション

転落事故防止の機能です（防犯機能はありません）。

■ C部詳細



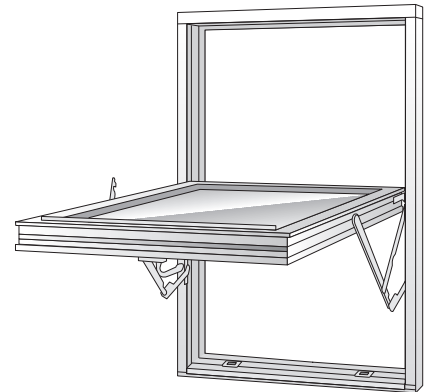
全開ポジション

完全に窓が開いた状態です。（ロックはかかりません）



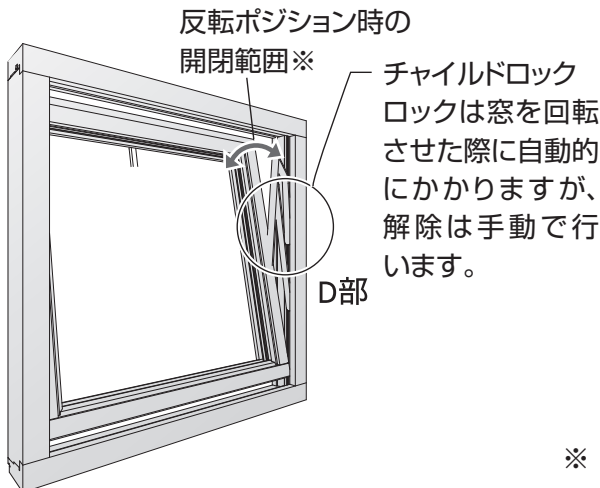
警告

- お子様のいるご家庭では十分注意する
落下事故の原因になります。
- 全開ポジションで使用する際には、枠やサイドレールなどの上に手を置かない
窓が自重で閉じ、指をはさむなどケガの原因になります。
- 風が強い日など、全開ポジションでは使用しない
破損の原因になります。

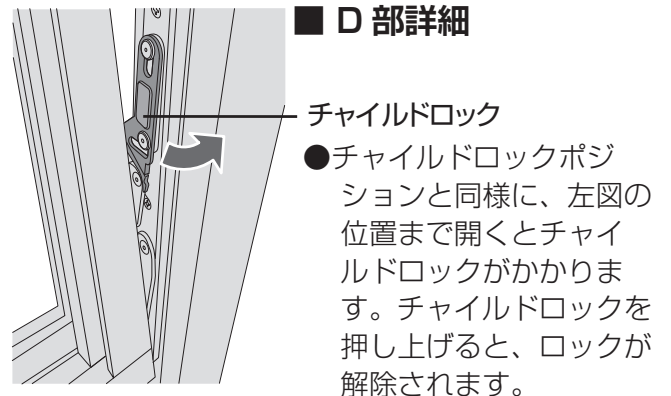


反転ポジション

障子部が反転し、外側の面が内側に向いてロックされた状態です。
外側面の清掃・メンテナンス時に使用します。



■ D部詳細

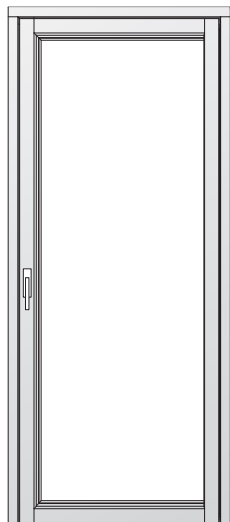


※ 反転ポジションにした場合には、ロックがかかっていることを確認してください。

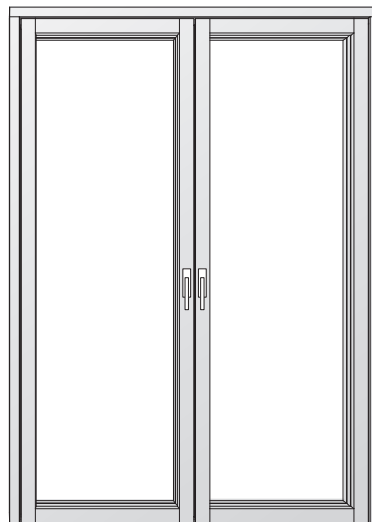
テラスドア（ECD）・両開きテラスドア（ECDP）の開閉操作

- テラスドア（ECD）、両開きテラスドア（ECDP）は、ドアの開閉角度を任意の位置で固定すること（あおり防止機能）ができます。両開きテラスドア（ECDP）の子扉（外観右側扉）も親扉側（外観左側扉）同様の機能となります。

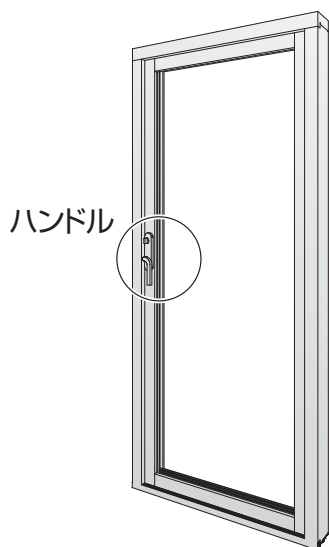
ECD



ECDP



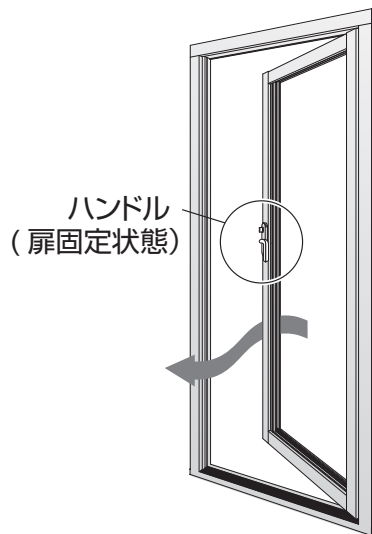
開閉操作のしかた



ハンドル

完全閉状態

扉が閉じた状態です。この状態で固定することができます。（下記参照）



ハンドル
(扉固定状態)


使用・換気状態

扉が開いた状態です。ハンドル操作により開閉角度を任意の位置で固定することができます。（下記参照）

テラスドア (ECD) ・ 両開きテラスドア (ECDP) の開閉操作 (つづき)

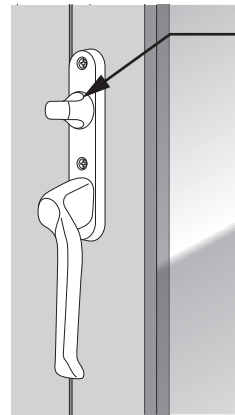
1 扉開閉角度を固定する (フリクションスティ機能)

- ハンドルを垂直に倒すと、その時の扉の開閉角度で固定することができます。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定された状態での無理な開閉はしない 扉のあおり防止機能の部品が破損するおそれがあります。
---	---

【ハンドル部詳細】

■ 完全施錠状態





サムターン鍵

- テラスドア (ECD) ・ 両開きテラスドア (ECDP) は扉上部にドアストッパーあおり防止機能が備わっていて、通常開閉時、扉は 90 度までしか開きません。

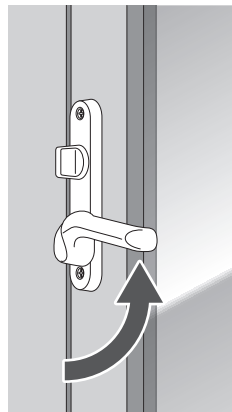
2 固定を解除する

- ハンドルを水平に起こすと、固定が解除され、扉を自由に開閉することができます。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定を解除した場合、突風などに気をつける 手をはさまれるなど、ケガの原因になります。
--	--

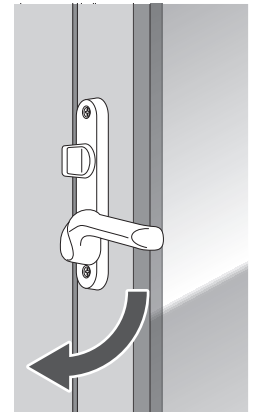
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルは必ず水平の状態にして開閉を行う ハンドルを水平にしないと、部品が破損するおそれがあります。
---	--

■ 開閉・稼働状態



完全に上げる

■ 換気・扉固定にする場合



下げる

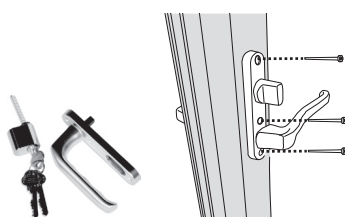
オプション品のご案内

■ 室外側から施錠を解錠したい方へ

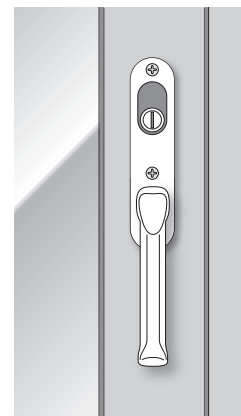
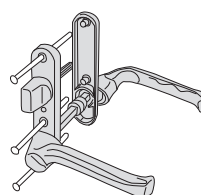
「シリンダー (錠) 付きハンドルセット」

テラスドアシリーズ (ECD, ECDP) に取り付けることができます。

※ 建築業者様までお問い合わせください。



標準ハンドル



オプション
ハンドル外観

ガラス部分のメンテナンス

日常の清掃について

※ 木部以外は一般の洗剤を使って清掃します。(アルミ部分は中性洗剤をご使用ください)

警告

- 清掃をする際、必ず窓がロックされていることを確認する
ケガや落下事故の原因になります。
- 足場のない回転窓の外側を清掃するときは、反転ポジション (P3) にし、チャイルドロックを必ずかける。(チャイルドロックがかかった状態でも、強く体重をかけない)
ケガや落下事故の原因になります。
- ロックされていない状態 (P3 全開ポジション) では、台などの上に乗って清掃しない
ケガや落下事故の原因になります。



塗装部分のメンテナンス

■ 本製品は天然木を使った製品のため、定期的なメンテナンスが必要です。お手入れしていただくことで経年劣化を抑制し、長期間天然木の優しい質感と年を重ねるごとに変わってゆく風合いを楽しんでいただくことができます。お手入れをしないとひび割れ、カサつき、変色などを起こしやすくなってしまいます。設置場所によってはカビが発生することがありますので、そのような場所に設置されている場合には防カビ処理をしていただくことをお勧めします。設置場所に適したお手入れの頻度と方法を用いていただくようお願いいたします。また天然木ですので、納入後 1 年程度は収縮が起こる場合がありますが、性能に問題はありません。

現場納品時は無塗装品になり、塗装は現場塗装となります。再塗装の目安や方法などは建築業者様までお問い合わせください。

可動部分・金物部分のメンテナンス

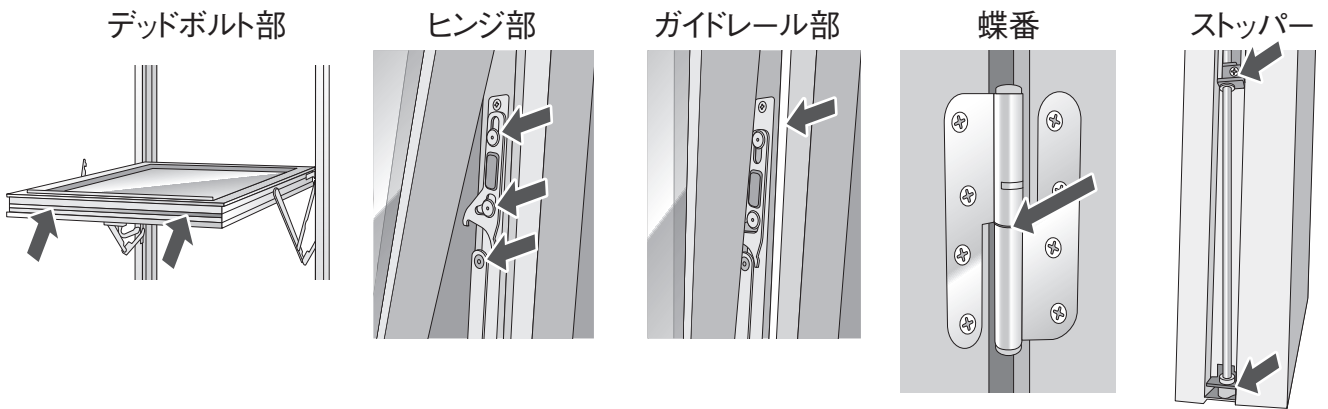
■ 木製トリプルガラス窓はアルミサッシや樹脂サッシと窓寸法が同じでも重量は約3倍になります。その重みの負荷は窓可動部分の金物に集中しており、日常生活による使用頻度や、ガラスの重みや木部の膨張収縮等の経年劣化により、開閉の重み、硬さ、摩擦が発生することがあります。開閉に重みを感じられるようになった場合は、定期的に潤滑剤でグリスアップをしていただくことで、開閉の重みが改善される場合があります。



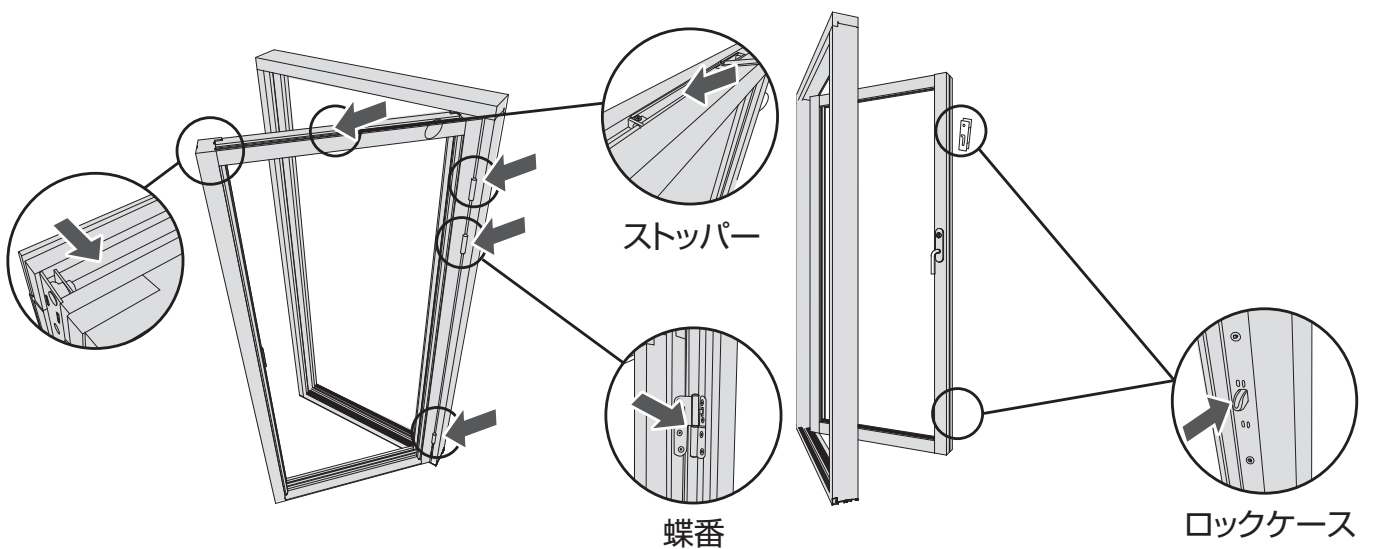
注意

● 潤滑剤はシリコン系オイルまたは水気を含まないオイルでグリスアップをする。ゴミやホコリが付着した状態でグリスアップをすると、ゴミやホコリが凝着して稼働不良のおそれがあります。

可動部のグリスアップ [ECT]



可動部のグリスアップ [ECD]

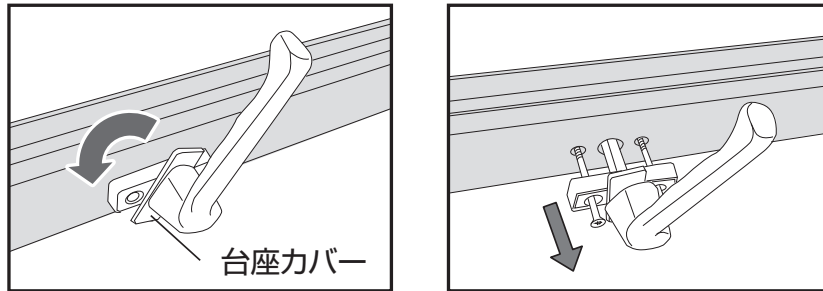


メンテナンス・部品交換時に必要な作業

回転窓

■ ハンドルの外しかた

台座カバーは手間に引っ張りながら回してください。



回転窓&テラスドア

■ メンテナンス

日常使いで窓ハンドルとテラスハンドルの台座を押さえているビスがゆるんでいる場合には、増し締めしてください。そのまま使用していると破損する場合があります。

